

研究課題 (テーマ)	災害拠点病院における認知症高齢者や家族に関する倫理教育の現状と課題		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	看護学部看護学科	助教	岩崎 涼子
共同研究者	看護学部看護学科	教授	岡本 恵里
研究結果の概要			
<p>1) 研究対象：厚生労働省ホームページに示された全国 742 の災害拠点病院において看護職員研修の企画や運営を担当する看護職の責任者各 1 名を対象とした。(災害拠点病院は災害医療の中心的役割を担い、看護部の組織が整っているため選定した。)</p> <p>2) 研究方法：</p> <p>(1) 研究デザイン：調査研究 (無記名の選択式・自由記述式質問紙調査)</p> <p>(2) データ収集方法：郵送調査 回答所要時間：15 分程度</p> <p>3) 調査内容：</p> <p>①対象者の看護職経験年数、病院での職位</p> <p>②研究協力病院の所在地、開設者、病床数について</p> <p>③看護倫理に関する院内の看護職が参加可能な研修会や事例検討会について</p> <p>④看護倫理に関する研修会や事例検討会を行う上での困りごとについて</p> <p>⑤看護倫理教育に対する必要性の認識について</p> <p>4) 調査期間：2020 年 3 月末－4 月末日</p> <p>5) 結果と分析方法：</p> <p>災害拠点病院における、認知症高齢者の看護に関する倫理教育の実態及び教育の必要性に関する考えを明らかにすることを目的として、全国 742 施設の教育責任看護職 742 名に調査書を発送した。新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨床現場の混乱を鑑み、回答期日を 2020 年 4 月末に設定したため、集計は 5 月に実施予定。4 月末日における回収数 166 人 (22.4%)。</p> <p>なお、データ分析は MAXQDA Analytics Pro を用いて行う予定である。</p> <p>①記述統計を行う。</p> <p>②看護職員研修の企画や運営を担当する看護職の看護職経験年数や病院での職位によって、看護倫理教育の必要性の認識に差があるか分析する。</p> <p>③災害拠点病院で行われている看護倫理に関する研修会や事例検討会の実態と成果及び困りごとについて、地域・病床数・開設者別の傾向を分析する。</p>			
今後の展開			
<p>分析結果をふまえ、災害拠点病院における認知症高齢者の看護に関する倫理教育の実態と課題を整理する。同時進行で進めている別の研究における「学士課程における認知症高齢者の看護に関する倫理教育の実態調査」、「公的総合病院に勤務する看護職の倫理教育の受講状況、認知症高齢者の看護に関するジレンマ等の調査結果」を踏まえ、看護職が倫理的な判断をするための能力を養える教育内容を抽出していく。</p>			